

平成27年度第1回富山市入札監視委員会の概要

開催日時・場所	平成27年7月27日（月）午前10時から午前12時 富山市役所第4委員会室
委員 （委員数5名） 出席5名	委員長 古田俊吉（富山大学名誉教授） 委員 新畑彬（元大沢野町助役） 委員 大石貴之（弁護士） 委員 彼谷環（富山国際大学教授） 委員 猿田淳子（税理士）
次第	1 開会 2 富山市の入札・契約手続の運用状況について ・富山市の建設工事等の入札・契約制度について ・入札・契約事務の改善について ・指名停止等の運用状況について ・入札・契約方式別の発注工事及び落札率について 3 審議対象工事の抽出について 4 抽出工事の審議 5 審議結果のまとめ 6 閉会
対象期間	平成26年10月1日から平成27年3月31日まで
抽出工事 （落札率）	10件（対象工事件数268件） ① 一般競争入札（3件） ・松川公園便所改築（その2）工事（98.89%） ・富山公共下水道大久保排水区下大久保地区大久保1号雨水幹線築造（第2工区）工事（87.52%） ・上水道高内地区舗装復旧工事（89.17%） ② 指名競争入札（6件） ・新園町地区配水管布設替（第1工区）工事（98.45%） ・市道水橋新町10号線外1線側溝補修工事（92.38%） ・市営住宅水橋新保団地解体工事（85.62%） ・富山駅周辺公共施設管理事務所改修工事（99.62%） ・上大久保4区排水路改良工事（99.68%） ・H26 災 3630-6001 中村東山農道災害復旧工事（99.56%） ③ 随意契約（1件） ・南部中学校外構整備工事（100.00%）
審議の概要	別紙のとおり
委員会の意見	平成26年度下半期分の富山市発注の建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていたと判断する。

別 紙

意見・質問	回 答
①今年度から、公共工事の入札価格の積算内訳書において、直接工事費の内訳を求めている。そのことにより、入札においてどのような変化が出てきているか。	①以前は、直接工事費の内訳の詳細を記載していない内訳書もあったが、4月以降、業者が工事の内容を精査したうえで価格を積算し、入札を行うようになってきている。
②「入札参加者数基準」の金額区分は予定価格によるのか。また、金額区分に応じて入札参加者数は、必ず基準を満たさなければならないのか。	②予定価格によって区分している。また、この入札参加者数は、あくまで基準であり、案件によって工事を適切に行える業者数の状況が異なるため、必ず基準を満たさなければならないというものではない。
③「新園町地区配水管布設替（第1区）工事」では、業者選定を地理的条件により行っているとあるが、具体的にどのように選定を行っているのか。	③基本的に工事現場と事業所との距離による。ただし、「新園町地区配水管布設替（第1区）工事」では、地下水の水位が高いという厳しい条件があったため、今まで新園町において同様の工事を行っているという実績も総合的に考慮した。
④指名業者の案を作成する際に、担当課や指名委員会で、予定価格と同額で入札したことを考慮して業者を指名しないことができないか。	④あくまで、業者が積算した結果の価格が、予定価格になったということであり、予定価格と同額で入札したことをもって指名しないことは難しい。
⑤「市営住宅水橋新保団地解体工事」は、低入札調査が行われており、「意見」の欄に「下請けも適切にされる見込みであるため」とあるが、下請けが適切にされるかを確認するためにどのような調査を行うのか。	⑤下請けに関しては、業者から提出された見積書と、市で作成した設計書との比較をし、工事が履行可能かの調査を行う。この案件では、市の設計価格と大きな差異が無かったため、適切に工事が行われると判断した。
⑥業者に実力があれば、低入札価格調査の対象となる安い金額でも入札できてしまうが、そのような業者が参加する場合、他の業者は落札が出来ないと諦めてしまうという可能性は無いのか。	⑥指名業者については、開札するまで、どの業者が指名されているかを他の業者が知りえないため、そのようなことはないと考えます。
⑦「H26 災 3630-6001 中村東山農道災害復旧工事」において、工事ランクがDであるのに、指名業者にBランクの業者を入れて、結果その業者が落札している。このような結果になると、C・Dランクの業者は不満が残るように思えるが、なぜBランクの業者を指名したのか。	⑦地理的条件に基づき指名をしている。山田地域には昨年までは3者あったが、1者が廃業し、今はBランク1者とCランク1者の2者しかいない状態であり、Bランクの業者は、山田中村に事務所があり、現地の状況を良く分かっていることから指名したもの。